

平成25年度

＜保護者の皆様へ＞

家庭学習のススメ



白石市立白石第一小学校

1 家庭学習とは



『家庭学習』とは、学校で学習した内容を確実に身に付けたり、自主的に学習する習慣や学び方を身に付けたりするための学習です。家庭学習には、以下の2つがあります。

『家庭学習』 { 『宿題』⇒ 学習する内容は、先生から指示されて行います。
『自主学習』⇒ 学習する内容は、自分で考えて行います。



「宿題」と「自主学習」は、目的が違うんだね。

(1) 『宿題』について

『宿題』は、全学年で取り組みます。授業で学習した基礎的、基本的な内容を確実に理解したり、教師が子どもたちの学習状況を把握したりするために行います。

【宿題の主な内容】

- ・ 漢字練習 ・ 音読練習 ・ 計算練習 ・ 復習プリント ・ 意味調べ
- ・ 発展的な内容を含む学習 など

※低学年では、「読書」や「日記」などを宿題とする場合があります。

(2) 『自主学習』について

『自主学習』は、3～6年生を対象に行います。もちろん、1，2年生から行っても構いません。自主学習は、授業で学んだ内容をもとに、考えたり、分かりやすくまとめたりするといった思考力や表現力を身に付けるために行います。さらに、「自主学習」は、自主的に学習する習慣を身に付けるための学習ですので、できる限り継続して行うことが大切です。



自主学習は、毎日継続してすることが大切なんだね。

【自主学習の主な内容】

- ・ 予習（教科書の音読や視写，意味調べ，教科書の文章を要約する など）
- ・ 復習（学習したことをまとめたり，繰り返し練習したりする）
- ・ 学習した内容に関連した「発展問題」に取り組む。
- ・ 調べ学習（理科，社会，総合）

2 家庭学習の目標



家庭学習は、「実施時間」を意識しながら行わせるようにします。宿題は、20分程度で行います。（低学年では、30分近くかかる場合もあります。）自主学習は、3～6年生を対象に以下の時間を目標とします。



ノートに書く文字の大きさ（※文字数）も学年によって変わってくるよ。

		低学年	中学年	高学年
宿 題		20分程度	20分程度	20分程度
自主学習	ページ数		1 ページ	1～2 ページ
	実施時間		20分以上	30分以上
合 計		20分以上	40分以上	50分以上

3 自主学習の進め方



宿題は、担任の先生から指示された内容を行えばよいのですが、自主学習は、まず「何を？」「どのように？」学習すればよいのか、自分自身で考える（＝学習計画を立てる）ところから学習がスタートします。実は、ここが自主学習の大切なところであり、なかなか難しいところでもあります。以下に、自主学習の『学び方』について、紹介しますので参考にしてください。

（１）ノートを準備する

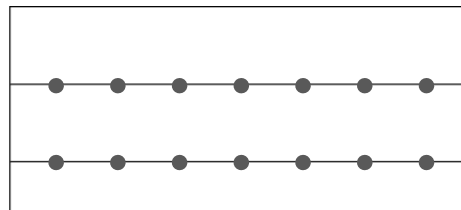
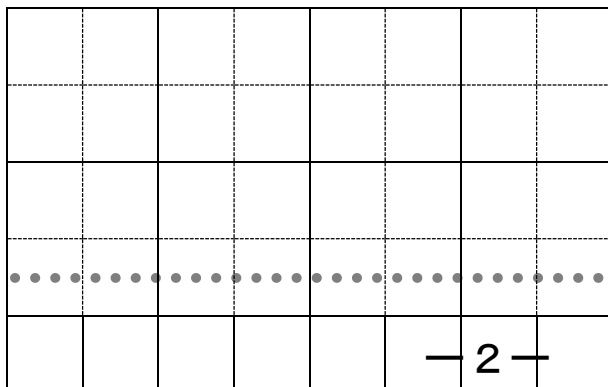
自主学習専用の「ノート」を用意します。ノートを選ぶ際には、学年に合わせた適切な文字の大きさや文字数を考えて用意します。学年によって方眼や罫線のノートを使い分けると効果的です。



自主学習は、一冊のノートにまとめると、自分の成長が分かるね。

※（例）中学年：5～10mm方眼

※（例）高学年：7～10mm罫線



※「ドット入り」だと書きやすい！！

(2) 学習計画を立てる

① 自主学習の「めあて」と「目標時間」を決めます。※ノート余白（上段）に書く。

・「めあて」には、学年によって以下のようなものが考えられます。内容によっては、1～2つのめあてを組み合わせる考えてもよいと思います。

《自主学習のめあて（例）》

※詳しくは、自主学習のススメ（児童用）をご覧ください。

- いろいろな慣用句の意味や使い方についてまとめる。
- 都道府県の形と位置を正しく覚える。
- わり算の筆算の仕方を分かりやすく説明できるようにする。
- 速さの考え方をつかって文章問題作りをする。
- 歴史で学習した□□□という武将について詳しく調べる。 など

・「目標時間」は、自主学習を「開始した時刻」と「終了予定時刻」を記入しておきます。（タイマーを使うと、取り組んだ時間が分かりやすく便利です。）

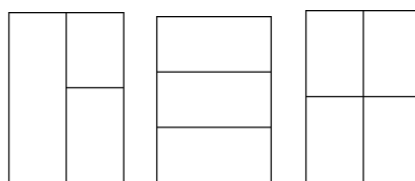
② ノートのまとめ方を考える。



さらに詳しく知りたいときは、「4 自主学習の実際」を見て下さい。実際のノートが見られます。

「まとめ方」とは、自分が取り組もうとしている学習の内容をどのように書き表すのか、レイアウト（配置）を工夫するということです。学習する内容によって、線で区切って見当をつけておく（※部屋割り法）と、まとめやすくなります。

〈レイアウト（例）〉



③ ふりかえりを書く。

ノートの余白（下段）に、「ふりかえり」を書きます。やってみて難しかった所や詳しく分かった所、次に取り組みたい学習等について書くことで、やる気と計画性が高まります。

①行った「月日」 ②めあて
③開始時刻と終了予定時刻 ④かかった時間

() 月 () 日	16時30分～17時10分 (40分)
めあて ()	
	国語（熟 ニ、ハ、
算数 （文章問	
	算数 （文章問
ふりかえり ()	

⑤今日のふりかえり（難しかった所や詳しく分かった所、次の学習予定等）を書く

(3) 自主学習を始める

小学校では、以下の内容を中心に自主学習を行います。基礎的・基本的内容や、発展的な内容など、自分で何をすべきかを考えて学習を行う習慣を身に付けていきます。



以上の内容は、一例ですので、日頃の授業における学習内容にそって工夫しながら行ってみるとよいでしょう。(国語, 算数, 理科, 社会, 以外の音楽や家庭科等の教科でも OK です。) ◎中学年では、いろいろな教科に興味をもち、どんどんノートにまとめること, ◎高学年では、1つの教科に絞り、学習した内容をさらに深めたり、広げたりしていくことが大切です。創意工夫あふれる楽しいノート作りが、お子さんの考える力や表現する力を高めていきます。

4 自主学習の実際



実際に、子どもたちが取り組んだ自主学習ノートの例をご紹介します。

〈中学年向け①〉



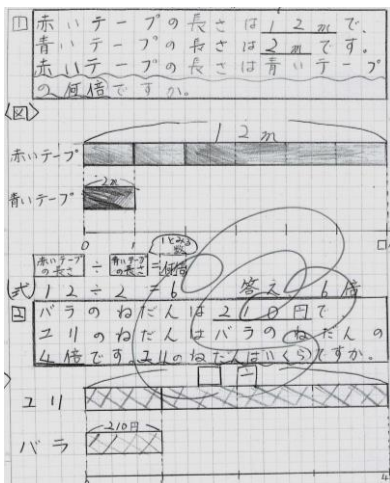
※ローマ字(国語)と調べた国旗を分かりやすくまとめ興味・関心を広げているノート

〈中学年向け②〉



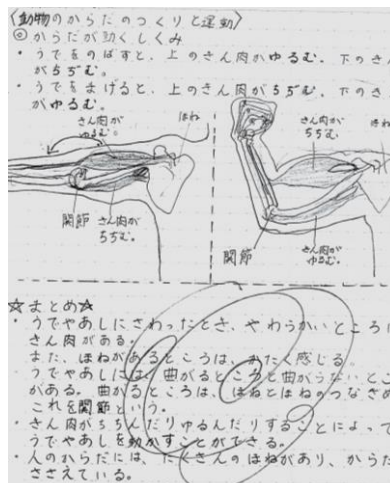
※国語の学習を生かして、漢字の読みや熟語、慣用句の意味について分かりやすく調べたノート

〈中学年向け③〉



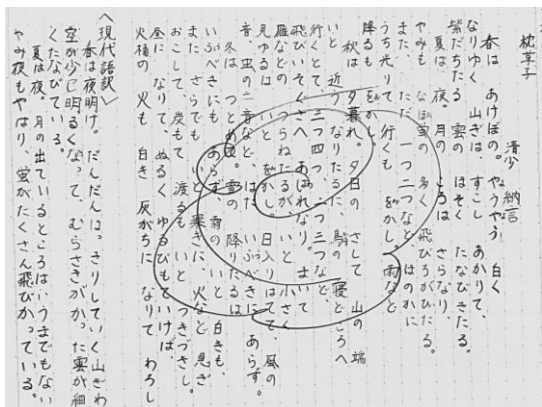
※算数の文章問題を数直線図で表し、式と答えを分かりやすくまとめたノート

〈高学年向け①〉



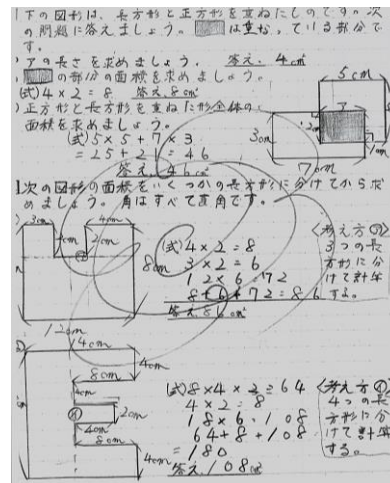
※理科で学習する内容を事前に予習したノート。リアルなイラストを書き写すことで、理解を深めることができます。

〈高学年向け②〉



※古文の視写と現代語訳をまとめたノート(横罫線を縦書きで使用した例)

〈高学年向け③〉



※算数で学習した内容から、市販のドリルなどを用いて、発展的な学習内容に取り組んだノート

5 家庭学習 Q&A



自主学習における素朴な疑問について分かりやすくお答えします。

Q1 低学年では、自主学習をしなくてもよいのでしょうか？

A: 自主学習は、是非、低学年からでも取り組んでほしいと思います。ただし、低学年では、「宿題」をしっかりと行うことがとても大切です。(担任の先生への提出も含めて)宿題をしっかりと家に帰ってから、自分でできる習慣が身に付いているお子さんは、是非、漢字の書き取り練習や、簡単な計算練習、読書などを自主学習として行うとよいでしょう。

Q2 自主学習は、必ずノートにしなくてはならないのですか？

A: いいえ、そうとも限りません。市販のドリルや通信教育で行っている学習も、立派な自主学習です。ただし、ドリル等の学習に慣れたお子さんは、与えられた課題は、進んでこなせますが、レポート等の自ら課題を見つけ、解決方法を探っていくような思考力や表現力は、不十分だと考えられます。バランスよく、ノートやドリル等を活用していくことが大切です。

Q3 自主学習の内容は分かりましたが、具体的に何をさせればよいかわかりませんか？

A: 具体的には、授業で行った学習内容を「復習」させてください。授業で使用したノートや教科書、プリント、ドリル等を書き写したり、問題を少し変えたりしてノートにまとめると力がつきます。また、市販のドリルを活用するのも効果的です。ただし、その際には、できるだけ、自分で選ばせて準備することが自主的な学習習慣のきっかけになります。

Q4 まだ授業で学習していないところを自主学習してもよいのですか？

A: はい、もちろん大丈夫です。自主学習には、「復習」と「予習」の2つのタイプがあります。まだ学習していない所を学習する「予習」も素晴らしい自主学習です。高学年では、中学校に向けて、少しずつ、「予習」に重点を置いた自主学習に取り組んでみるとよいと思いますが、お子さんの実態に応じて、「復習」と「予習」をバランスよく行うことが大切です。

Q5 自主学習で行った問題の採点（○や×）は、担任の先生がしてくれるのですか？

A: 自主学習は、自己採点が基本です。学習内容を考え、見通しをもちながら、自分で学習内容を見直すまでが自主学習です。担任は、提出の確認やまとめ方のよさについての励ましやアドバイス等を行い、自主学習の質の向上と意欲を高めていきます。やりっぱなしでは、せっかくの自主学習の効果も半減してしまいますので、見直したり、自己採点する習慣も身に付けさせたいと思います。もちろん、簡単な間違い等については、声がけ、指導する場合もありますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。



『家庭学習のススメ』は、いかがでしたか？お子さんの学力を向上させるためにも、学校と家庭が協力しながら、義務教育9年間を見通した家庭学習の習慣を身に付けていきましょう！





Shiroishi Daiichi elementary school
standard study style 2013

